

《ミニブレイク175》

レッドクレイキング 赤土の王対スライダーマン

監修/辻野隆三 (MIRAI TENNIS ACADEMY) 作画/石川正順



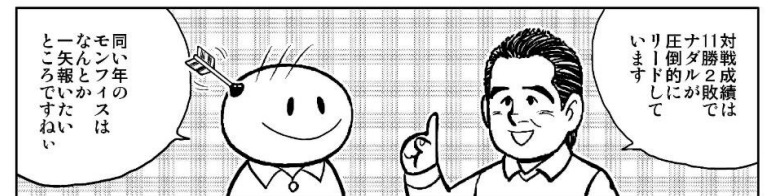
ガエル・モンフィス (フランス)

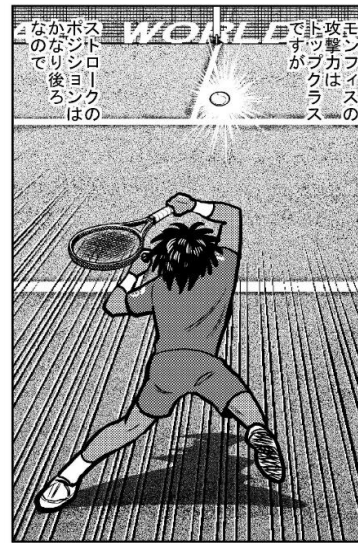
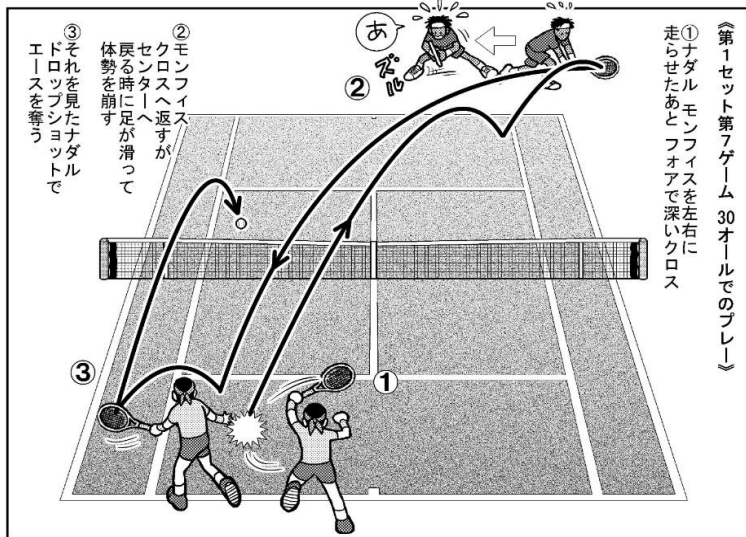
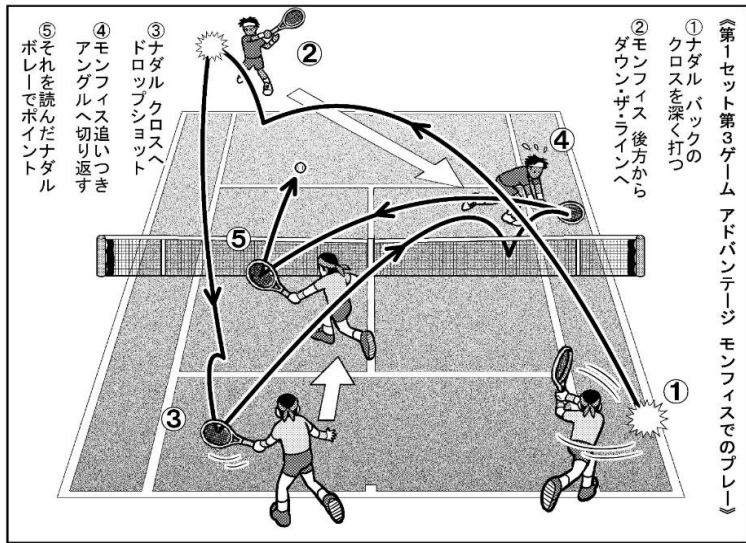
ラファエル・ナダル (スペイン)

1986年9月1日生まれ 29歳
身長193cm / 体重80kg
フランス・パリ出身
対戦時のランキングは23位

VS.

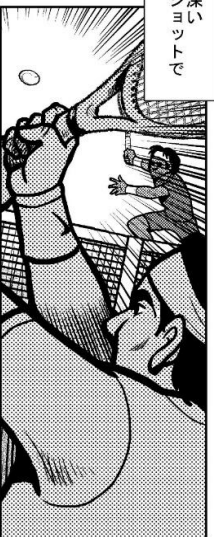
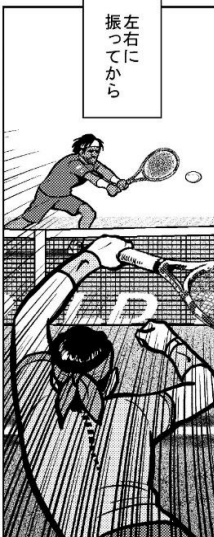
1986年6月3日生まれ 30歳
身長185cm / 体重85kg
スペイン・マナコル出身
対戦時のランキングは5位





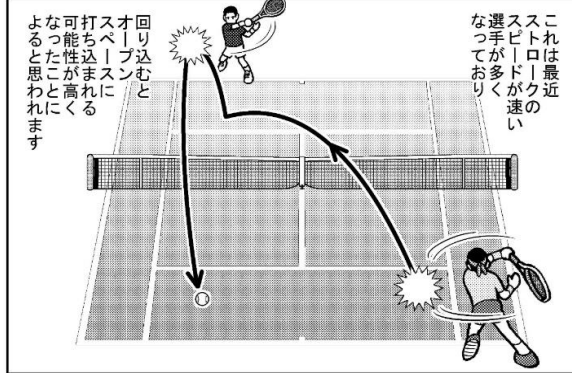
Point ①

前述したようにモンフィスはサーブゲームをなるべく早く終わらせてリズムを作る選手です



Point ②

ナダルは以前に比べてフットワークの量が減っています

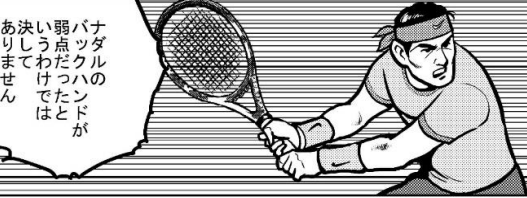


これは最近ストロークの選手が多く選んでおり

回り込むとオープンスペースに打ち込まれる可能性が高くなると思われる

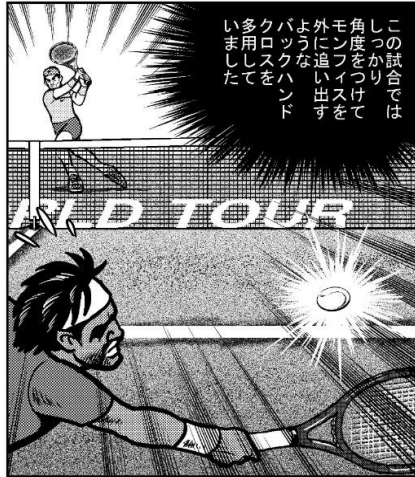
しかし今までフットワークが足りなかったから

ナダルのバックハンドが弱点だったというわけではありませぬ



ナダルの強力な武器の一つです

そのキレと実に見事なもので

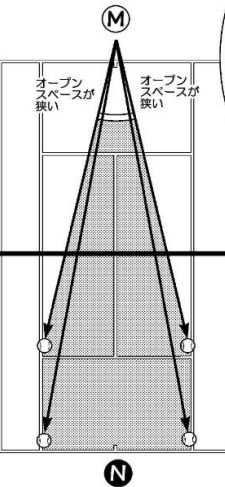


この試合ではしっかりと角度をつけてモンフィスを外に追い出すようなバックハンドクロスが多用していました

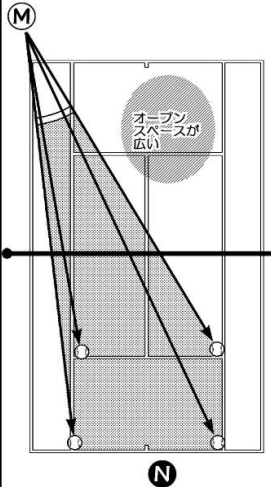
ナダルのバッククロスはモンフィスが得意とするフットワークになりませんが外から打たせれば強打できる角度が狭くなりオープンコートも作りやすくなります



【センターから打たれた場合】

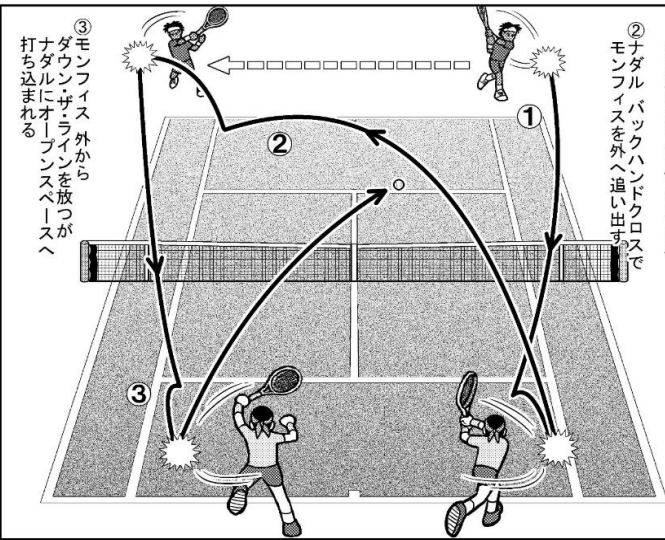


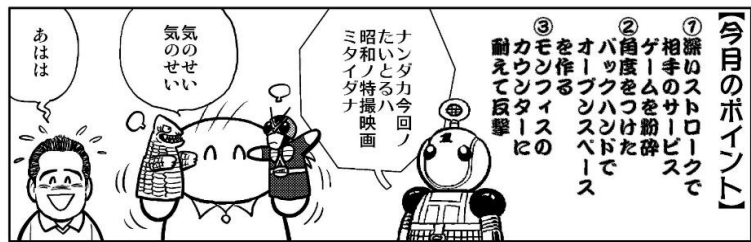
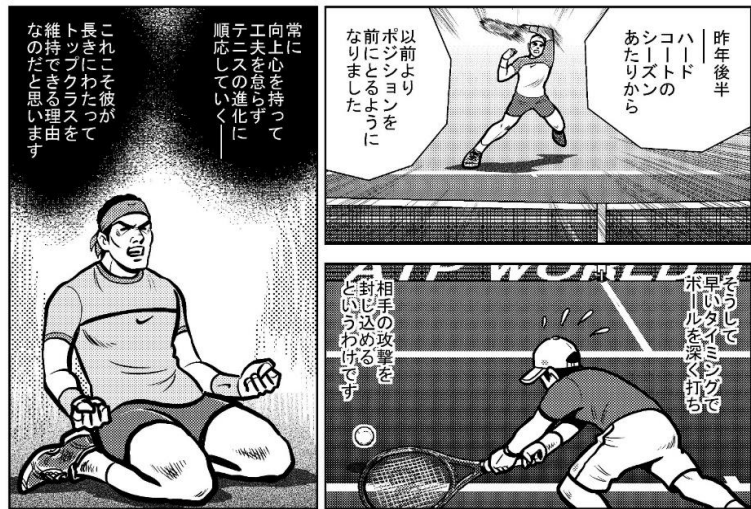
【外で打たせた場合】



《第1セット第7ゲーム 40-30でのプレー》

- ①モンフィス ナダルのフットワークをダウンザラインへ
- ②ナダル バックハンドクロスでモンフィスを外へ追い出す
- ③モンフィス 外からダウンザラインを放つがナダルにオープンスペースへ打ち込まれる





テニスクラシックBreak誌掲載(日本文化出版)
まんが:いしかわせいぢゅん